

# 認知症の人と家族の会 国際交流専門委員会ニュース

第1号

発行

認知症の人と家族の会 国際交流専門委員会  
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る  
京都社会福祉会館 2F  
電話 (075)811-8195・FAX (075)811-8188・  
Eメール office@alzheim.or.jp

2009.10.5 Vol.1

## ニュース発行の想い

国際交流専門委員長 吉野 立

世界アルツハイマーデーも過ぎ、秋の風情がますます濃くなってきた今日この頃です。「家族の会」国際交流専門委員会では、国際交流の情報を支部のみなさまへ出来るだけ詳しいものを、早く提供するために、この度、国際交流専門委員会ニュースを発行することに致しました。

国際交流といっても、日頃の介護や「家族の会」の活動とはなかなかつながらない面もあるかと思いますが、私たちの日々の介護や活動が世界の国々の方の介護や活動に役立ったり、また、世界の取り組みが私たちの介護や活動に新しい視点や考えをもたらしてくれるのかもしれないと考えているのです。

なによりも、私たちの「家族の会」が、世界71の国と地域の人たちとつながっていることを実感できることは、私たちに「元気」と「力」を生み出させてくれる源になるのではないのでしょうか。

どうか、このニュースを支部の会員のみならずと共有していただきますようお願い致します。ニュースは年3回程度の発行を考えています。国際交流についての皆様方からのご意見、アイデア等をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

## 世界アルツハイマー病宣言」賛同・請願署名活動が多くの支部で取り組まれています

8月3日付けで全支部へ「世界アルツハイマー病宣言」賛同・請願署名の協力依頼とADの世界アルツハイマーデー広報資料送付を行い、署名活動に取り組んでいただいています。9月末現在、3,148名の署名が寄せられ、インターネット署名などと併せて、合計3,606名となっています。

署名を寄せていただいた支部は次のとおりです(2009年9月30日現在)。

青森	206	新潟	20	大阪	503	愛媛	247
宮城	16	富山	191	三重	1	福岡	18
山形	6	山梨	95	鳥取	282	宮崎	146
群馬	20	石川	2	島根	1	鹿児島	127
埼玉	409	長野	11	岡山	8	ネット他	458
千葉	109	京都	42	広島	688	総計	3606

## 目次

- ・ ニュース発行の想い  
国際交流専門委員長 吉野 立 ..... (1)
- ・ 世界アルツハイマー病宣言賛同署名活動  
が多くの支部で取り組まれています ..... (1)
- ・ ADIが写真コンテスト「認知症と共に生きる」  
応募作品を募集 ..... (2)
- ・ ADIがメドリック・アルツハイマー賞基金の  
第2回・研究プロジェクト応募を募っています ..... (3)
- ・ アジア・太平洋地域会議が開催されます ..... (3)
- ・ ADI第25回国際会議・ギリシャ大会のお知らせ ..... (4)



支部会報の記事として取り組みを紹介している支部は次のとおりです。

山形 新潟 滋賀 富山 群馬 三重 千葉  
長野 広島 鳥取

世界の署名数は、10,000名を大きく越えました(2009年9月15日現在)。

署名数の多い国と地域 15カ国は次のとおりです。

台湾 9868 メキシコ 1499 日本 1017 ベネ  
ゼーラ 740 ヨルダン 680  
ブラジル 627 ネパール 571 韓国 548 カ  
ナダ 486 アメリカ 400 オーストラリア 398  
イギリス 382 アルゼンチン 289 ウルガイ  
198 香港 176

日本における、紙面による署名の取り組みは10月31日を最終集約日とします。

それまでに、署名活動を取り組み、集まった名簿をお送り下さい。

尚、インターネットによる署名は継続されます。

A D I が「認知症と共に生きる」をテーマに写真コンテストを開催します。募集要項は下記のとおりです。地域の皆様へ積極的な応募を呼びかけてください。

**国際アルツハイマー病協会 2009年 写真コンテスト**  
**「認知症と共に生きる」への応募作品を募集します！**

このたび国際アルツハイマー病協会 (略称 AD I) では、認知症の人の生き生きとした暮らしぶりを広く世の中にアピールすることを目的に、「認知症と共に生きる」をテーマに、世界規模の写真コンテストを開催することになりました。各国のアルツハイマー病協会ごとに、アマチュア部門 3 作品、プロ部門 3 作品まで選出することができます。日本では認知症の人と家族の会が応募を受け、専門家を交えた選考委員会にて日本代表の作品を選びます。下記の要領をご参照の上、ふるってご応募ください。

なお、AD I の本選考は、カナダの写真家ボレス・スプレモ氏、ロイター通信、BBC ニュースオンライン、イギリスのタイム紙、ガーディアン紙の各代表者で構成される本審査委員会によって行われ、2010年 2 月に公表されます。各部門とも、等賞 \$500 2 等賞 \$300 3 等賞 \$200 の賞金が授与されるとともに、来年 3 月にギリシャで開催される第 2 回国際アルツハイマー病協会国際会議で入賞作品を展示し、授与式が行われます。

〔応募要領〕

1. 応募資格

アマチュア部門、プロ部門ともに、応募の時点で「認知症の人と家族の会」会員であること、あるいは入会申し込み中であることを条件とします。

2. 応募上の注意

いずれかの部門に、3 点以内の応募とします。両方の部門に応募すること、並びに 4 作品以上応募することはできませんのでご注意ください。

応募作品は、テーマ「認知症の病気そのものではなく、認知症に罹った本人へ焦点をあて、認知症でありながらも前向きに生きている姿を撮影し、認知症患者が前向きに社会に参画している姿をメッセージできるもので、オリジナルの未発表のものに限ります。

フィルムカメラまたはデジタルカメラで撮影した 12x 19cm 以内、もしくは 18x 24cm 以内のサイズにプリントした作品 (カラー、黒白、いずれでも可)

応募作品は返却しません。

応募作品の著作権は撮影者に帰属しますが、活動推進を目的とした各国での写真展示会や出版等に応募作品を使用する権利を、AD I 及び各国協会に対して付与するものであることにご了解のうえ、応募してください。

写真に撮られた人々の同意が得られていることを応募の必須条件としています。同意や拒否の気持ちを表すことのできない認知症の方に対しては、ご家族からの同意を得てください。応募作品が日本代表として選考された場合には、ご本人またはご家族の署名同意書を提出していただきます。

日本代表として選考された作品の撮影者には、可能ならば作品の電子データをお送りいたします。なお、デジタルカメラでの作品は 2000x 1500ピクセル以内と規定されていますのでご注意ください。

3. 締め切り及び応募先

締め切り

2009年 11月 16日 (月曜日) 家族の会事務局必着 (封筒に「写真コンテスト応募」と朱書きし、郵送してください)

応募 問合せ先

〒602-8143 京都府京都市上京区堀川丸太町下ル京都社会福祉会館内  
 認知症の人と家族の会事務局 電話 075-811-8195 e-mail office@alzheim.or.jp

応募作品の裏に、以下の応募票を必ず貼り付けてください。

2009年 A D I 写真コンテスト		作品応募票	
フリガナ 氏名	( 歳 )	応募先	( ) アマチュア部門 ( ) プロ部門
住所	〒	連絡先 電話	
会員資格 該当に )	1 家族の会会員 所属支部 :		) 2 現在、入会手続中
写真説明 (50字以内)			